

メキシコ史研究ワークショップ  
「メキシコとアジアの接点—フィリピンを中心に—」

日時：2011年2月21日（月）午後1時～午後5時45分

会場：京都外国語大学内国際交流会館4階会議室

※申込不要、入場無料

太平洋を舞台にスペイン・メキシコ・フィリピンを結ぶ歴史を検証します。

ご関心のある方はお気軽にご来場ください。

<プログラム>

1:00 ワークショップ開会・主旨説明

1:15 報告1：平田和重（大阪大学非常勤講師）

「16-17世紀メキシコにおけるアジア」

16-17世紀メキシコ（ヌエバ・エスパーニャ）とアジアの関係について概観し、メキシコ史の概説書 *Historia mínima de México* の新旧両版（第2版、1994年；第3版、2004年、El Colegio de México）の16-17世紀に関する記述を比較し、解釈の変化を検証する。その後、新たな植民地史の解釈におけるアジアの位置づけについて考察し、今後の研究を展望する。

1:45 書籍案内：服部綾乃（翻訳家）

「グアダラハラを征服した日本人」

メキシコ人歴史研究者メルバ・ファルク・レジェス／エクトル・パラシオス著『グアダラハラを征服した日本人—17世紀メキシコに生きたフアン・デ・パエスの数奇な生涯—』（現代企画・2010年12月出版）の訳者による本歴史研究書の紹介。

2:00 報告2：井上幸孝（専修大学准教授）

「16-17世紀ヌエバ・エスパーニャにおける歴史叙述の潮流とアジアに関する記述」

いわゆる「発見・征服」の時代には、スペイン人が歴史や地誌の報告を多く書いたが、16世紀後半から17世紀前半にかけてのヌエバ・エスパーニャ（メキシコ）では、スペイン人入植者や修道士らのほか、先住民とその血を引く子孫、あるいは現地生まれの白人であるクリオーリョといった様々な人々が歴史的な叙述を残した。これらの歴史叙述を分析することで、先住民、混血、クリオーリョらが過去をいかに解釈し、彼らにとっての「現在」に合致した意義づけを行っていったかが明らかになる。本報告では、こうした歴史叙述の流れを整理するとともに、その中に現れるアジア関係の記述をいくつか取り上げて個々の叙述の中での意味を考えてみたい。

2:30 報告3：ホアン ラモン＝ヒメネス・ベルデホ（滋賀県立大学准教授）

「スペインによるアジアの植民地都市建設について」

フィリピンにおけるスペイン植民地都市の起源・変容・転成・保全に関する研究。メキシコ、カリブ海、フィリピンにおけるスペイン植民地都市の比較研究を大きな視点とし、フィリピン諸都市の起源と変容過程、その現在抱える問題を明らかにする。

3:00 休憩

3:15 報告4：立岩礼子（京都ラテンアメリカ研究所主任研究員）

### 「ガレオン船貿易の実態」

ガレオン貿易はアジアから新大陸に豊かな物資をもたらしたと考えている歴史研究者は少なくない。しかし、18世紀後半まで、太平洋横断の航海が海流と風まかせであったことを踏まえれば、ガレオン貿易が安定したものであったとは必ずしも言えない。したがって、マニラのスペイン人の生活は苦しく、中国人の助けなくしては成立しなかった。本報告では、17世紀のガレオン貿易の実態およびスペイン人によるマニラ支配について考察する。

#### 3:45 報告5：野上建紀（有田町歴史民俗資料館主査）

##### 「ガレオン貿易で運ばれたアジアの陶磁器」

ガレオン貿易で新大陸に運ばれたアジアの商品の中にアジアの磁器が含まれていたことはよく知られている。今回はガレオン貿易のアジア側の拠点であるマニラ、新大陸のメキシコシティやオアハカなどの遺跡出土陶磁器を分析しながら、ガレオン貿易による陶磁器の流通の実態について考察する。

#### 4:15 報告6：宮原暁（大阪大学グローバルコラボレーションセンター准教授）

##### 「セブにおける中国人とカトリック—問題の所在—」

今日、フィリピンのセブには、およそ6万人の中国系住民が暮らしている。このうちほとんどは19世紀半ば以降、セブに移住した中国系移民の子孫であるが、こうした中国系住民とは別にセブには中国系メスティソと呼ばれる19世紀半ば以前からセブに居住する中国系移民の子孫がおり、部分的に新来の中国系の系譜とも重なっている。セブにおいて両者の関係がどのようなものであったか、これまで研究は進んでいないが、鍵となっているのがスペイン植民地統治期のセブ市パリアン地区における中国人の動向とキリスト教の布教であったように思う。本報告では、この点に関して、パリアンにおける Jesuit House の来歴にも触れながら、振り返り、問題の所在について考えてみたい。

#### 4:45 休憩

#### 5:00 ディスカッション

#### 5:45 閉会

### <会場へのアクセス>

- 1) 阪急電車「西院駅」から、西へ徒歩約15分。または、「西大路四条（西院）」から市バス3・8・28・29・67・69・71に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約5分）
- 2) JR「京都駅」烏丸口から、市バス28に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約30分）  
または、京都バス81・83に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約30分）
- 3) JR「京都駅」八条口から、市バス71に乗車、「京都外大前」で下車（乗車時間約30分）
- 4) 地下鉄東西線「太秦天神川駅」から、南へ徒歩約13分

### ●お問い合わせ●

京都外国語大学京都ラテンアメリカ研究所

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

TEL: 075-312-3388 / FAX: 075-322-6237

E-mail: ielak@kufs.ac.jp

<http://www.kufs.ac.jp/aboutkufs/kikan/kyotolatin/index.html>